

観光ビジネス学科 シラバス変更の一覧

学年	ページ	開講科目
1年	16	マーケティング
1年	17	観光概論
1年	18	観光ビジネス論
1年	27	ホテル・ブライダルサービス
1年	34	旅程管理
1年	39	観光英語
1年	45	初年次ゼミ
2年	58	国際観光論
2年	64	旅と文学
2年	68	東南アジアの言語と文化
2年	75	観光英語ガイド基礎

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-1-FCO-02				
	●					●				
科目名	マーケティング				単位認定者	丸藤 准二		試験（筆記）	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	30 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	
				授業回数		15 回				
授業の概要	「4P」といわれるプロダクト、プライス、プレイス、プロモーションを中心としたマーケティング・ミックスの考え方や、ビジネスの環境変化に対応した新しいマーケティングの方法を学ぶ。また、生産と消費を結ぶ流通がどのような機能と役割を担っているのかを、小売業を中心に学ぶ。									
到達目標	企業経営の一環であるマーケティングの概要を理解すること。さらにマーケティング活動の内容・方法の基本を理解し、自分の言葉で説明できるようにすること。									
学修者への期待等	「マーケティング」を学ぶことにより、企業活動の内容を知ることができる。日常生活においても、商品やサービスがどのような販売戦略によって市場に導入されているかなどを考え、理論と実務の両面から「マーケティング」を捉えるようにしてほしい。									
回	授業計画				準備学修					
1	マーケティングとは何か				復習として、マーケティングとは何かについて整理をしておいてください。（1時間程度）					
2	セグメンテーション/ターゲティングSTP(1)				復習として、セグメンテーションとターゲティングについて整理をしておいてください。（1時間程度）					
3	ポジショニングSTP(2)				復習として、ポジショニングについて整理をしておいてください。（1時間程度）					
4	4P戦略(1) Product〈製品〉				復習として、製品について整理をしておいてください。（1時間程度）					
5	4P戦略(2) Price〈価格〉				復習として、価格政策について整理をしておいてください。（1時間程度）					
6	4P戦略(3) Place〈流通チャネル〉				復習として、流通チャネルについて整理をしておいてください。（1時間程度）					
7	4P戦略(4) Promotion〈販売促進〉				復習として、販売促進について整理をしておいてください。（1時間程度）					
8	具体例で考えるマーケティング戦略				復習として、STPと4Pについて整理をしておいてください。（1時間程度）					
9	競争戦略				復習として、売り手・買い手の力関係、業界内の競争関係について整理をしておいてください。（1時間程度）					
10	消費者行動				復習として、消費者行動について整理をしておいてください。（1時間程度）					
11	サービスマーケティング/eコマース				復習として、サービスマーケティングとeコマースについて整理をしておいてください。（1時間程度）					
12	ソーシャルマーケティング				復習として、ソーシャルマーケティングについて整理をしておいてください。（1時間程度）					
13	法律と政策の関与				復習として、「市場の失敗」などについてと法律について整理をしておいてください。（1時間程度）					
14	観光マーケティング（1）（概略と方法）				復習として、観光業のマーケティングについて整理をしておいてください。（1時間程度）					
15	観光マーケティング（2）（事例研究）				復習として、観光業のマーケティングの事例について整理をしておいてください。（1時間程度）					
教科書	丸山正博著『プレステップマーケティング<新版>』弘文堂									
参考文献	・和田充夫・恩蔵直人・三浦俊彦著『マーケティング戦略 第5版』有斐閣									
備考	・受講者の理解度等により、講義の順番や重点の置き方を変えることがある。 ・当科目は2クラスに分けて実施する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-1-FCO-03				
	●				●					
科目名	観光概論				単位 認定者	成澤 広幸		試験（筆記）	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の 方法	授業内課題	30 %
							授業時間数		30 時間	受講態度
				授業形態	講義	授業回数			15 回	
授業の概要	観光は21世紀最大の産業であるといわれ、わが国でも観光立国政策に沿って内外の観光客の獲得競争が始まっている。本科目では、観光活動を産業の立場から概観し、観光が多くの個別的な産業に支えられて、最終的には豊かな国民生活に貢献していることを学ぶ。具体的には、観光活動を主な原因とする経済規模のひろがり、日本と世界のレベルで見てから、観光活動を構成する移動・宿泊・レジャーという三大要素と個別的な産業との関わりについて講義し、最後に観光活動の経済的効果についてまとめる。									
到達目標	現代における観光現象を総合的に理解し、基本的・個別的な観光問題について、自分のことばで説明を行うことができるようになる。									
学修者への期待等	観光を考える素材は日常生活の至る所にあります。観光は身近な存在なので、当然のことのようにその意義を考えることが少ないと思われかもしれませんが、身の回りにあふれる観光に関することに注意を向けてほしい。そうすれば観光の豊かな世界が見えてきます。									
回	授業計画				準備学修					
1	「観光」の概念とコロナ禍の現代における観光の意義				2022年現在の状況において、観光とは何だろうかということを考えておいてください。 準備学修：概ね30分。復習：概ね20分。					
2	観光の諸制度				観光活動を盛んにする仕組みは何かを考えておいてください。 準備学修：概ね30分。復習：概ね20分。					
3	観光の効果と影響				観光が個人や社会、環境にもたらすものをプラスとマイナスの両面で考えておいてください。準備学修：概ね30分。復習：概ね20分。					
4	観光と経済				観光がミクロとマクロの双方でどのような影響をもたらすかについて、考えておいてください。 準備学修：概ね30分。復習：概ね20分。					
5	観光と情報				観光情報の発信方法とメディアについて考えておいてください。 準備学修：概ね30分。復習：概ね20分。					
6	観光と環境				観光活動と環境保護の関係について考えておいてください。 準備学修：概ね30分。復習：概ね20分。					
7	観光と地域社会				観光が地域に何をもちたすのかを考えておいてください。 準備学修：概ね30分。復習：概ね20分。					
8	観光開発				観光開発が持続するための工夫について考えておいてください。 準備学修：概ね30分。復習：概ね20分。					
9	観光行動				具体的に観光行動を起こすプロセスを自己に即してまとめておいてください。 準備学修：概ね30分。復習：概ね20分。					
10	観光と文化				文化が観光商品となるとはどういうことかについて考えておいてください。 準備学修：概ね30分。復習：概ね20分。					
11	観光と教育・福祉				観光の教育的・福祉的役割について考えておいてください。 準備学修：概ね30分。復習：概ね20分。					
12	観光と交通				観光における移動について考えておいてください。 準備学修：概ね30分。復習：概ね20分。					
13	観光と宿泊				旅行時の宿泊について、施設の種類やサービスなどを経験に即してまとめておいてください。 準備学修：概ね30分。復習：概ね20分。					
14	観光と旅行業				旅行会社の役割について考えておいてください。 準備学修：概ね30分。復習：概ね20分。					
15	観光施設				観光客を受け入れる施設にはどのようなものがあるか、調べておいてください。 準備学修：概ね30分。復習：概ね20分。					
教科書	特になし									
参考文献	前田勇『新現代観光総論』学文社。岡本伸之『観光学入門』有斐閣。大橋昭一その他『観光学ガイドブック』ナカニシヤ出版。井口貢『観光学への扉』学芸出版社。その他は授業中に適宜紹介します。									
備考	原則として事前にLMSに授業ファイルをアップロードするので、事前学修及び復習をしてください。LMSなどで課題の提出を行う予定です。 本科目は遠隔（オンデマンド配信）にて実施する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-1-FCO-04			
	●				●				
科目名	観光ビジネス論				単位認定者	成澤 広幸		試験(筆記)	50%
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	後期	単位数	2単位	授業内課題	30%
	現代英語学科	選択	2年		講義	授業時間数	30時間	受講態度	20%
				授業形態		授業回数	15回		
授業の概要	観光事業は、観光政策のように国や地方公共団体などが公共目的で実施するマクロ的なものと、個々の企業や組織が営利または非営利の目的をもって行うミクロ的なものとに分けられる。本科目では、企業や組織の営む観光ビジネスの全体像について概観する。具体的には、観光ビジネスの基本である移動と宿泊、観光地での諸活動、それらの仲介サービスにおいて、それらの企業や組織がいかなるビジネスモデルに則って事業活動を展開しているかについて、豊富な事例研究を交えながら理解を深める。								
到達目標	様々な組織や団体の観光事業について概略を理解し、社会との関わりの中でどのような役割を果たしているのかを説明できるようになる。								
学修者への期待等	観光ビジネスは個別的な観光活動が対象ですが、難しく考えないで、身近な観光キャンペーンや地域おこしなどで観光が果たしている役割を考えれば、この授業はわかりやすくなります。								
回	授業計画				準備学修				
1	観光ビジネスのマネジメント特性：TDRのマネジメント				TDRのマネジメントのどこが優れているのかを考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
2	観光ビジネスのイノベーション：楽天トラベル				旅行業における販売方法の進化について理解しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
3	観光ビジネスのグローバル経営：H. I. S.				H. I. S. の海外戦略について理解しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
4	観光のマーケティング：下関観光コンベンション協会				地域の観光マーケティングを事例に則して考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
5	観光とWebビジネス：エクスペディア				エクスペディアのマーケティングの特徴を理解しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
6	旅行業：JTB				JTBの業務内容の変遷について調べておいてください。 予習：概ね30分。復習：概ね20分。				
7	宿泊業：星野リゾート				星野リゾートの方向性を調べておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
8	航空輸送業：ANA				レベニュー・マネジメントの例をANA以外でも調べておいてください。 予習：概ね30分。復習：概ね20分。				
9	鉄道ビジネス：JR九州				JR九州の活躍の理由を考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
10	テーマパーク：ハウステンボス				なぜリピーターになるのかを考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
11	グローバル時代の地域観光インフラ：統合型リゾート(IR)				IRの必要性について考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
12	地域のインバウンド事業：九州オルレ				なぜ九州オルレが成功したか考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
13	観光地の集客イベント事業：長崎さるく				故郷で観光を軸とした地域おこしをすれば何が必要かを考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
14	地域ブランドの構築：宇都宮市				事例を参考に故郷の地域ブランドは何かを考えておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
15	新しい旅行スタイル：進化する旅行者ニーズと観光創造				日本内外の観光行動についてのニュース、話題などに注意しておいてください。 予習：概ね20分。復習：概ね20分。				
教科書	特になし								
参考文献	高橋一夫その他『1からの観光事業論』碩学社。高橋一夫その他『1からの観光』碩学社。北川宗忠『現代の観光事業』ミネルヴァ書房。長谷政弘『観光ビジネス論』同友館。								
備考	原則として事前にLMSに授業ファイルをアップロードするので、事前学修及び復習をしてください。LMSなどで課題の提出を行う予定です。 なお、本科目は2クラスに分けて実施します。								

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-06			
		●	●						
科目名	ホテル・ブライダルサービス			単位認定者	林 春伽 小野寺 理恵		評価の方法	※詳細は「備考」欄を参照すること。	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	後期	単位数		2 単位	
					授業形態	講義		授業時間数	30 時間
							授業回数	15 回	
授業の概要	2010年代に入って急増しているインバウンド需要の主要な受け手として現在急拡大を続けているホテル業界について、本講義では特に「おもてなし」の精神を実際の行動として体現するサービス業務について学ぶ。具体的にはホテルビジネスおよびブライダルビジネスにおけるサービスについて、必要とされるマインドとスキルを講義しつつ、ロールプレイなど演習的な要素も入れながら理解を深める。								
到達目標	実際にホテルの現場第一線で豊富な経験を積んだプロフェッショナルによるホテリエに必要な知識と技術を学修する。様々な部門に分かれるホテルサービスを授業を通して体験することで、より具体的にホテルサービスを理解できるようにする。								
学修者への期待等	限られた時間の中で最大限の学修成果を得るためにも、1回ごとの授業を大切に、講義内容の復習を積極的に行ってほしい。今後の日本の観光産業を見据え、東北に訪れた観光客に対するホテル・ブライダルサービスを自ら主体的に学ぶ姿勢を期待する。								
回	授業計画			準備学修			担当教員		
1	ガイダンス・ホテルサービスの概要 (JR東日本グループ メトロ、メッツ)						林 春伽 一ノ渡 守		
2	①料飲宴会部門業務 ②料飲接客技法			ホテルサービスにおける宴会、飲食部門について各自あらかじめ調べておくこと (30分程度)			林 春伽 安孫子 憲一		
3	①宿泊部門業務 ②ブライダル部門業務			ホテルサービスにおける宿泊、ブライダル部門について各自あらかじめ調べておくこと (30分程度)			林 春伽 ①山岸 浩太郎 ②白井 宏幸		
4	レストランサービス実習 vol.1 ※ホテル開催 (レストランサービス)			ホテルサービスにおけるレストラン部門について各自あらかじめ調べておくこと (30分程度)			林 春伽 安孫子 憲一		
5	～プロフェッショナル講義～ ①ソムリエ ②バーテンダー ※ホテル開催			ホテルサービスにおけるソムリエ、バーテンダーの仕事について各自あらかじめ調べておくこと (30分程度)			林 春伽 伊藤 太一		
6	レストランサービス実習 vol.2 ※ホテル開催 (宴会場でのサービス)			ホテルサービスにおける宴会場での仕事について各自あらかじめ調べておくこと (30分程度)			林 春伽 照井 大介		
7	インバウンド概論			日本のインバウンド観光について各自あらかじめ調べておくこと (30分程度)			林 春伽 大友 怜		
8	～プロフェッショナル講義～ ①バリスタ ②利き酒師 ※ホテル開催			ホテルサービスにおけるバリスタ、利き酒師の仕事について各自あらかじめ調べておくこと (30分程度)			林 春伽 ①荒川 季絵 ②阿部 直人		
9	グループディスカッション 「お客様の期待以上に応えるホテルのサービスとは」 ※ホテル開催			前回までの授業の内容を復習しておくこと (1時間程度)			林 春伽 齋藤 智久		
10	プレゼンテーション ※ホテル開催			前回の授業の内容を復習し、プレゼンテーション資料を各自準備しておくこと (1時間程度)			林 春伽 齋藤 智久		
11	DVD視聴・検定説明			ウェディングプランナーの仕事について各自あらかじめ調べておくこと(30分程度)			小野寺 理恵		
12	検定対策 (過去問解説)ブライダル基礎			前回までの授業内容を復習しておくこと(30分程度)			小野寺 理恵		
13	プランナーの会話 (グループワーク)			前回までの授業内容を復習しておくこと(30分程度)			小野寺 理恵		
14	検定対策 (過去問解説)ブライダル基礎とプランナーについて			前回までの授業内容を復習しておくこと(30分程度)			小野寺 理恵		
15	席次表作成 (グループワーク), ブライダル基礎知識			前回までの授業内容を復習しておくこと(30分程度)			小野寺 理恵		
教科書	『ブライダルコーディネーターテキスト スタンダード』公益社団法人日本ブライダル文化振興協会								
参考文献	『ホテルビジネス基礎編』一般財団法人日本ホテル教育センター 『新ホテル総論』一般財団法人日本ホテル教育センター 『ブライダル総論』一般財団法人日本ホテル教育センター 『ブライダルプロデュース』一般財団法人日本ホテル教育センター								
備考	<評価の方法> 林春伽：第1回～10回 - 試験(レポート)：40%，受講態度：30%，プレゼンテーション内容：30% 小野寺理恵：第11回～15回 - 試験(レポート)：60%，受講態度：30%，授業内課題：10%								

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

現役のホテリエ(ホテルメトロポリタン仙台スタッフ)とブライダルコーディネーター(小野寺理恵)として実務経験を有する。各実務家の具体例のある講義やロールプレイを通じて、ホテリエに求められているマインドやスキル、サービスについての授業を行うことができる。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-23				
		●			●					
科目名	旅程管理				単位認定者	堤 博史		試験(筆記)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	通年	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	本科目では旅程管理者(ツアーコンダクター)の業務について座学と実習により理解を深める。旅程管理は旅行商品の最終段階として捉えられ、旅程管理者のみならず消費者(旅行者)にとっても非常に重要である。具体的には国内旅行に関する旅程管理業務の概説、および当該業務の実施に関して必要不可欠な各種サービス提供契約と関係法令等についての概説、さらには実際の添乗実習などを中心に行い、当該業務への理解を深め、円滑にツアーを実施できる能力を養う。									
到達目標	旅程管理者(ツアーコンダクター)の業務について理解を深め、円滑なツアーを実施できるようになる。国内旅程管理主任者の公的資格を取得する。									
学修者への期待等	限られた講義時間の中で全員の国内旅程管理者(公的資格)の修了を目指す。集中して受講してほしい。修了した者には、添乗実習を実施する。									
回	授業計画				準備学修					
1	日本の旅行業界の現状と将来性				本科目は集中講義のため、以下のように準備してこること。 ①国内旅行(訪日外国人旅行も含む)と海外旅行の現状について調べておくこと ②講義前に教科書の該当するページを読んでおくこと					
2	旅行業法(概要、総則他)									
3	旅行業法(旅行業等)									
4	標準旅行業約款(約款とは)									
5	標準旅行業約款(総則他)									
6	標準旅行業約款(契約、旅程管理、責任他)									
7	標準旅行業約款(旅程保証他)									
8	関係機関約款(国内旅客運送、一般貸切旅客自動車運送、フェリー標準運送、モデル宿泊)									
9	国内旅行実務について									
10	添乗員の役割と心構え(添乗員とは、添乗員の役割、添乗員の基本的要件)									
11	添乗員実務(各種書式等)									
12	添乗員実務(日帰りバスツアー、航空機利用ツアー)									
13	添乗員実務(JR利用ツアー、宿泊)									
14	関係機関の基礎知識									
15	観光地理									
教科書	『旅程管理主任者資格取得講座テキスト(基礎・国内)』アクトレップ株式会社									
参考文献	必要に応じて指示する。									
備考	本科目は3日間の集中講義である。旅行業法と旅行業約款および旅行実務の講義後に修了テストを実施する。 本試験は、観光庁長官旅程管理登録研修機関第20号(アクトレップ株式会社)の協力を得て実施する。受験諸費用・修了証書・実習費用が、別途、必要となる。									

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

総合旅行業務取扱管理者、観光庁登録の旅程管理講習資格を有する。
海外勤務を含め旅行業界に40年近く従事した経験から、旅行全般についてポイントや課題等を分かりやすく説明することができる。

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング			
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-40			
		●							
科目名	観光英語				単位認定者	吉野 千乃		試験(筆記)	60 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	授業内課題等	20 %
					授業形態	演習	授業時間数	30 時間	受講態度
							授業回数	15 回	
授業の概要	観光の現場では、日常英会話のみならず、特定の用語や表現等の理解が必要となる。本科目では、日常英会話力の向上と観光現場で必要となる用語・表現等の修得をめざす。空港やホテルなどの海外旅行で接する会話場面を想定し、旅行者としてまた観光業従事者として必要となる表現を学修する。								
到達目標	観光分野に関する様々な語彙、表現を身につけて、基本的な応対が英語のできるようになる。								
学修者への期待等	事前に指定箇所の予習を行い授業に臨むこと、授業外でも積極的に英語学修に取り組むことを期待する。								
回	授業計画				準備学修				
1	授業の進め方について/Unit 1 Travel								
2	Unit 2 Jobs and People 空港業務の名称を学修する				Unit 2 Vocabularyを完成させておく。不明な語彙は必ず辞書等で確認しておく。(40分程度)				
3	Unit 3 Getting on the Plane 飛行機搭乗時の表現を学修する				Unit 3 Vocabularyを完成させておく。不明な語彙は必ず辞書等で確認しておく。(40分程度)				
4	Unit 4 Immigrations and Customs 出入国管理と税関で使用する表現を学修する				Unit 4 Vocabularyを完成させておく。不明な語彙は必ず辞書等で確認しておく。(40分程度)				
5	Unit 5 At the Airport 空港のフロアマップに用いられている表現を学修する				Unit 5 Vocabularyを完成させておく。不明な語彙は必ず辞書等で確認しておく。(40分程度)				
6	Unit 6 Hotel (Accommodations) ホテルの予約、チェックインで使用する表現を学修する				Unit 6 Vocabularyを完成させておく。不明な語彙は必ず辞書等で確認しておく。(40分程度)				
7	Unit 7 Restaurant レストランやファストフード店で使用する表現を学修する				Unit 7 Vocabularyを完成させておく。不明な語彙は必ず辞書等で確認しておく。(40分程度)				
8	Unit 8 Sightseeing 都市観光で使用する表現を学修する				Unit 8 Vocabularyを完成させておく。不明な語彙は必ず辞書等で確認しておく。(40分程度)				
9	Unit 9 Shopping ショッピングで使用する表現を学修する				Unit 9 Vocabularyを完成させておく。不明な語彙は必ず辞書等で確認しておく。(40分程度)				
10	Unit 10 Transportation 公共交通機関で使用する表現を学修する				Unit 10 Vocabularyを完成させておく。不明な語彙は必ず辞書等で確認しておく。(40分程度)				
11	Unit 11 Problems and Complains 問題が生じたときの対応を学修する				Unit 11 Vocabularyを完成させておく。不明な語彙は必ず辞書等で確認しておく。(40分程度)				
12	Additional Unit: Traveling in Japan ① 空港から旅館への移動、チェックイン、入浴方法								
13	Additional Unit: Traveling in Japan ② 旅館での食事、おみやげ、観光地								
14	観光英語検定3級 問題演習① 過去問題 (第42回実施分を予定)								
15	観光英語検定3級 問題演習② 過去問題 (第43回実施分を予定)								
教科書	観光英検センター編著 (2014) 『ベーシック観光英語』三修社								
参考文献	資料はLMSより随時配信する。								
備考	授業にはテキストと辞書を持参すること。 履修者の状況により、進度や内容に変更が生じる場合がある。 本科目は遠隔(オンデマンド配信)にて実施する。								

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング		
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-04		
	●		●					
科目名	初年次ゼミ				単位認定者	成澤 広幸 朴 賢淑 吉野 千乃 林 春伽		試験(レポート) 70 % 受講態度 30 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1年	開講時期	前期	単位数	1 単位	
				授業形態	演習	授業時間数	30 時間	
						授業回数	15 回	
授業の概要	<p>初学者が大学教育を学ぶにあたって必要とされる基礎力を養う。2年間の短期大学での学びを有意義なものとするための基礎的なスキルを身につけ、大学生生活の様々な場面で活用できるようになることを目的とする。</p> <p>また、グループディスカッションやプレゼンテーションを通じて、コミュニケーションスキルの向上を目指す。</p>							
到達目標	<p>大学新入生が、授業を中心とした大学生活において身につけておくべきさまざまなスキルを修得し、大学生生活のいろいろなシーンで活用できるようになる。</p>							
学修者への期待等	<p>学修内容により、1年生全員が合同で受講する場合とゼミ別に受講する場合がある。事前にLMS等で連絡するので、欠席や遅刻をせず、どちらにも積極的に参加すること。また、各ゼミの演習では、担当教員の指示に従うこと。</p>							
回	授業計画				準備学修			
1	ガイダンス, グループワークの進め方				学生便覧とシラバスを持参してください。自己紹介の内容を考えてきてください。(30分程度)			
2	大学で学ぶことの意味							
3	スタディースキル① 図書館の活用方法, 情報検索の仕方							
4	スタディースキル② 観光ビジネス学科での学びを考える				なぜ観光ビジネス学科を選んだのかについて, 具体的に話ができるようにしてきてください。(1時間程度)			
5	スタディースキル③ ホスピタリティについて考える				「ホスピタリティ」という言葉の広義の意味について考えてきてください。(1時間程度)			
6	学外研修				学外研修について調べておいてください。(1時間程度)			
7								
8	フィールドワーク① 課題設定と調査方法							
9	フィールドワーク② 現地調査							
10	フィールドワーク③ プレゼン資料の作成				プレゼン資料を完成させてください。(1時間程度)			
11	フィールドワーク④ ゼミ内発表				発表の練習をしてきてください。(1時間程度)			
12	フィールドワーク⑤ 4ゼミ合同発表, まとめ							
13	レポート作成の技術				事前にLMSにアップロードする授業資料を読んで, 理解しておいてください(30分程度)。			
14	新聞セミナー① 情報リテラシー力をつけよう							
15	新聞セミナー② 記事の構成, 文章の作り方							
教科書	特に指定しないが, 参考資料を適宜配布する							
参考文献	授業中に各教員から指示する。							
備考	<ul style="list-style-type: none"> 授業の順番や進行は, 受講者の理解度等によって変更することがある。 1年合同開講: 第3回, 第6回~第7回, 第12回, 第14回~第15回, それ以外の授業回はゼミ別で実施する。 第6~7回目は2年生「国際観光論」と合同開講する。 							

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要, 実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-10				
	●				●					
科目名	国際観光論				単位認定者	朴 賢淑		試験（レポート）	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	受講態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	近代における観光活動の成立時からすでに国際的な規模を持っていた観光活動は、現代においては規模がさらに拡大し、諸国民間の相互理解と交流を促進するようになった。その一方で、マス・ツーリズムとボーターレス化の進展ともなうて、地球規模で様々な問題を引き起こしている。本科目では、このように国境を越える観光活動によって引き起こされる政治的、経済的、社会的、文化的、地域的、環境的など種々の影響・効果について理解を深め、国際観光のあり方について考える。									
到達目標	①日本における国際観光の現状を理解するとともに、国際観光をめぐる諸問題を学際的な視点から説明できること。 ②日本におけるインバウンド観光政策として、地域間格差を解消するためには、どのような視点が重要か、提言ができること。									
学修者への期待等	観光の国際化が経済的、社会的、地域的にどのような影響を与えているのかを、新聞やテレビなどでチェックしてほしい。									
回	授業計画				準備学修					
1	ガイダンス:コロナ禍の観光				コロナ禍のなかでの観光パターンがどのように変化したのかを調べておいてください。					
2	観光の近代と現代ー観光というイデオロギーの生成と変容				観光をめぐる社会的課題について調べてください。(30分程度)					
3	日本の観光政策の現段階				日本の観光政策がどのように変化したのか調べてください。(1時間程度)					
4	日本人の海外旅行パターンの変容				日本人が好む海外の観光地を調べてください。(1時間程度)					
5	日本の国際観光の現状① ツーリズムを取り巻く環境				ツーリズムとは何か定義・概念について調べてください。(30分程度)					
6	日本の国際観光の現状② ツーリズムのイノベーション				ツーリズムに関連する新聞記事やニュースを調べてください。(30分程度)					
7	学外研修				研修先について調べておいてください。(1時間程度)					
8	学外研修									
9	国際観光とビジネス① バルセロナー都市計画を通じた観光活動適正化の試み				スペインの観光資源について調べてください。(1時間程度)					
10	国際観光とビジネス② ベルリンーDMOを軸に観光の質を追求する				ドイツの観光政策について調べてください。(1時間程度)					
11	国際観光とビジネス③ アムステルダムー住民生活の優先を明確化した網羅的な政策対応				オランダの観光政策について調べてください。(1時間程度)					
12	国際観光とビジネス④ 東アジア国・地域:中国、韓国、台湾、香港				東アジア国・地域の観光政策について調べてください。(1時間程度)					
13	国際観光と『コンテンツツーリズム』 ※特別講義				コンテンツツーリズムについて調べておいてください。(30分程度)					
14	インバウンド誘致と地域振興				日本のインバウンド誘致が地域にもたらす影響について考えてください。(30分程度)					
15	今後の国際観光の展望				コロナ禍の国際観光の在り方について考えておいてください。(30分程度)					
教科書	・特に用いない。講義では、レジュメや資料を配布し、重要な文献についてはその都度紹介する。 ・講義で随時配る資料はファイルしておくこと。									
参考文献	・早稲田インバウンド・ビジネス戦略研究会『インバウンドビジネス戦略』2019。 ・必要に応じて適宜紹介する。									
備考	・本講では参加型授業を目指しているため、積極的に授業に参加し、発言することが望ましい。 ・受講者の理解を促すために、講義の内容および計画を変更する場合がある。変更になった場合は事前に連絡する。 ・本科目は原則遠隔(オンデマンド配信)にて実施する。 なお、第7～8回目は1年生「初年次ゼミ」と合同開講し、この回は対面にて実施する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-12				
				●	●					
科目名	旅と文学				単位認定者	成澤 広幸		試験(レポート)	50 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題	30 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	受講態度
				授業回数			15 回			
授業の概要	本科目では旅と文学の接点に位置する紀行文学において、古代からいかに人々が未知の文化・文明・風土に関心を持ち、ときに時代や社会を批判し、また自らの心情を著者の心情に重ねて旅を追体験してきたかを学ぶ。また、どの紀行文もそれ自体独立して存在しうるものではなく、社会的、文化的、政治的、経済的、文学的など様々な状況に重層的にからめとられながら成立してきたという経緯についても理解を深める。									
到達目標	日欧の旅の記録や表現の多様性について、および、旅に関わる文学の発展が観光の発展に及ぼした影響について、時代状況や地域等をふまえて、自分の言葉で説明できるようになる。									
学修者への期待等	旅のもたらす新鮮な驚き、感動は個人にとって人間的な成長に貴重な糧となる。些細なものでもかまわないから、旅の喜び(そして苦しみ)を感じたことのある人なら、紀行文学からそういう感情を引き出し、共有することができるはず。他人の旅の感情を共有して追体験し、違う世界を理解することはきっと自分の人生を豊かにします。そういう体験をしてもらいたいと思います。									
回	授業計画				準備学修					
1	紀行文学の定義：旅によって生み出された文学とはどのようなものかを考える				図書館、ネットなどで紀行文学について調べてください(1時間)					
2	紀行文学のコーパスを考える				図書館、ネットなどで紀行文学にはどのようなジャンルが含まれるか調べてください(1時間)					
3	日本の紀行文学史の概観(1)：古代から室町時代				事前の配布資料で日本の紀行文学史概略(古代から室町時代)を読んでおいて下さい(1時間)					
4	日本の紀行文学史の概観(2)江戸時代以降				事前の配布資料で日本の紀行文学史概略(江戸時代以降)を読んでおいて下さい(1時間)					
5	日本の代表的な紀行文のアンソロジーを読みながら、時代性、著者、読者、移動性、他者の発見などについて考える。(1)：古代				配布されたアンソロジーの該当部分(古代)を読んでおいてください(30分)					
6	日本の代表的な紀行文のアンソロジーを読みながら、時代性、著者、読者、移動性、他者の発見などについて考える。(2)：中世				配布されたアンソロジーの該当部分(中世)を読んでおいてください(30分)					
7	日本の代表的な紀行文のアンソロジーを読みながら、時代性、著者、読者、移動性、他者の発見などについて考える。(3)：近世				配布されたアンソロジーの該当部分(近世)を読んでおいてください(30分)					
8	西欧の紀行文学史の概観(1)：古代からルネサンスまで				事前の配布資料で西欧の紀行文学史概略(古代からルネサンス)を読んでおいて下さい(1時間)					
9	西欧の紀行文学史の概観(2)：17世紀以降				事前の配布資料で西欧の紀行文学史概略(近代)を読んでおいて下さい(1時間)					
10	西欧の代表的な紀行文のアンソロジーを読みながら、時代性、著者、読者、移動性、他者の発見などについて考える。(1)：古代				配布されたアンソロジーの該当部分(古代)を読んでおいてください(30分)					
11	西欧の代表的な紀行文のアンソロジーを読みながら、時代性、著者、読者、移動性、他者の発見などについて考える。(2)：中世				配布されたアンソロジーの該当部分(中世)を読んでおいてください(30分)					
12	西欧の代表的な紀行文のアンソロジーを読みながら、時代性、著者、読者、移動性、他者の発見などについて考える。(3)：ルネサンス				配布されたアンソロジーの該当部分(ルネサンス)を読んでおいてください(30分)					
13	西欧の代表的な紀行文のアンソロジーを読みながら、時代性、著者、読者、移動性、他者の発見などについて考える。(4)：17・18世紀				配布されたアンソロジーの該当部分(17世紀・18世紀)を読んでおいてください(30分)					
14	西欧の代表的な紀行文のアンソロジーを読みながら、時代性、著者、読者、移動性、他者の発見などについて考える。(5)：19・20世紀				配布されたアンソロジーの該当部分(19世紀から現代)を読んでおいてください(30分)					
15	現代における紀行文学の意義									
教科書	特に使用しない。アンソロジーについては授業中に配布予定。									
参考文献	授業中に指示する。									
備考	原則として事前にLMSに授業ファイルをアップロードするので、事前学修及び復習をしてください。LMSなどで課題の提出を行う予定です。 本科目は遠隔(オンデマンド配信)にて実施します。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-36				
		●			●					
科目名	東南アジアの言語と文化				単位 認定者	朴 賢淑		試験(レポート)	70 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の 方法	授業態度	30 %
						授業時間数	30 時間			
				授業形態	講義	授業回数	15 回			
授業の概要	観光立国が現代日本の成長の一つの柱として重視されているが、本科目は近年、訪日旅行者が増加傾向を続けるアジア諸国、中でも東南アジアの国々について、どのような言語が話され、どのような文化が育まれているのかを概括的に学修する。そこから東南アジア諸国の言語・文化の多様性を理解し、それらの国からのインバウンド需要に応える基礎的素養を身につけることを目的とする。									
到達目標	文化的背景を含めた台湾語やタイ語の特徴を理解するとともに、簡単な会話ができること、また「異文化」という観点から東南アジア地域の社会・文化の基本的な知識の獲得を目指す。									
学修者への期待等	各回の授業で取り上げる基本概念について、事前に各自で調べておくことが求められる。また、授業内で配布資料などとともに学んだ内容は復習してください。									
回	授業計画				準備学修			担当		
1	ガイダンス、『21世紀の東南アジア』							朴賢淑		
2	台湾の民族と言語 ・ピンイン, 声調				「台湾語」と「中国語」は同じ言語かを調べておいてください。(30分程度)			朴仙子 朴賢淑		
3	台湾食文化とあいさつ ・台湾華語での自己紹介				前の授業で勉強したピンイン, 声調を復習してください。(30分程度)			朴仙子 朴賢淑		
4	台湾の観光戦略と観光資源開発				台湾の観光地及び観光政策について調べてきてください。(30分程度)			朴仙子 朴賢淑		
5	台湾の少子化問題と外国人労働者				台湾の外国人受け入れ政策について調べてきてください。(30分程度)			朴仙子 朴賢淑		
6	台湾の教育制度と学社連携				台湾の教育課程について調べてきてください。(30分程度)			朴仙子 朴賢淑		
7	台湾の祭事と婚姻制度				台湾の年間行事について調べてきてください。(30分程度)			朴仙子 朴賢淑		
8	ベトナムの社会と文化				ベトナムの文化について調べてきてください。(30分程度)			朴賢淑		
9	タイの基本知識				タイはどんな国か次の資料を一覧してください。 https://www.thailandtravel.or.jp/ https://www.youtube.com/watch?v=wxy0GUUdPMg (30分程度)			青木アタヤ 朴賢淑		
10	タイの経済と観光ビジネス				タイ経済について調べてください。また、タイの観光ビジネスについて次の資料を見ておいてください。 https://plus.alc.co.jp/2018/05/thailand/ (30分程度)			青木アタヤ 朴賢淑		
11	タイの文化と生活				「タイ王国の魅力2021」シリーズの内、少なくとも3話以上を見て、タイの文化と生活様式について考えてください。 https://www.youtube.com/watch?v=Kbv5kGsjrgY&list=PLIBFyPhlqV1Tb6LUg-nL5pVAommYUJo7&index=1 (30分程度)			青木アタヤ 朴賢淑		
12	タイの教育				タイの教育制度・学校について読んでおいてください。 https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/kuni/0212thailand.html			青木アタヤ 朴賢淑		
13	タイのことば・日タイ異文化コミュニケーション				タイ語の発音を聞いてみましょう。 https://sports.nhk.or.jp/dream/cheer/tha/ (30分程度)			青木アタヤ 朴賢淑		
14	タイの社会問題・ジェンダー				タイの今日の注目ニュースをネット検索をして、その中から3つテーマをピックアップしてください。(30分程度)			青木アタヤ 朴賢淑		
15	今後の東南アジアの展望				アフターコロナを見据えてインバウンドのあり方について考えておいてください。(30分程度)			朴賢淑		
教科書	・特になし									
参考文献	・講義では、レジュメや資料を配布し、重要な文献についてはその都度紹介する。 ・講義で随時配る資料はファイルしておくこと。									
備考	・受講者の理解を促すために、講義の内容および計画を変更する場合があります。変更になった場合は事前に連絡する。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要,実務経験と授業科目との関連性)

--

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-30				
		●			●					
科目名	観光英語ガイド基礎				単位認定者	吉野 千乃		試験(筆記)	60 %	
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	2年	開講時期	前期	単位数	2 単位	評価の方法	授業内課題等	20 %
					授業形態	講義	授業時間数		30 時間	受講態度
							授業回数		15 回	
授業の概要	観光ビジネス学科の基礎科目・基幹科目で学んだ観光業に関する知識を活かし、地域の魅力を英語でガイドできるような英語力を身に付けることを目的とする。訪日外国人観光客の視点で考えるため、外国人から見た日本の文化等についても学ぶ。他者の視点を持つことで、地域の新たな魅力に気づくことになる。それらをわかりやすく伝えるための英語表現を学ぶ。									
到達目標	観光英語に関する知識をさらに伸ばし、日本の代表的な観光地を訪れた外国人を英語で案内できるようにする。英語を通して、外国人にとって「異文化」である自国の文化をより深く理解できるようになる。									
学修者への期待等	観光分野の知識とともに、英語の技能を伸ばしたいと考える者、異文化理解に関心のある者、テキストの内容理解にとどまらず、積極的に英語を使用したいと考える者の履修を期待する。 また、総合旅行業務取扱管理者試験の英語問題も授業内で扱うため、受験を目指す者の履修も歓迎する。									
回	授業計画				準備学修					
1	授業の進め方について Lesson 1 An Attitude of Hospitality: Welcome to Japan!				シラバスをよく読み、到達目標を理解しておく。					
2	Lesson 2 Preparation for the 2020 Olympic Games in Tokyo				p.10 のオリンピックについての文章を読み、T/Fに回答しておく。(50分程度)					
3	Lesson 3 Do You Like to Watch Kabuki?				p.14の歌舞伎についての文章を読み、T/Fに回答しておく。(50分程度)					
4	Lesson 4 The Sapporo Snow Festival 総合旅行業務取扱管理者試験英語問題①				p.18の雪まつりについての文章を読み、T/Fに回答しておく。(50分程度)					
5	Lesson 5 Hiraizumi as the Buddhist Pure Land				p.22の平泉についての文章を読み、T/Fに回答しておく。(50分程度)					
6	基本的な会話練習と重要な語句 Scene 1-3 ロールプレイ				授業後にはロールプレイで用いた会話表現、重要語句をまとめておく。(50分程度)					
7	Lesson 6 Yokohama Port				p.26の横浜についての文章を読み、T/Fに回答しておく。(50分程度)					
8	Lesson 7 Mt.Fuji				p.30の富士山についての文章を読み、T/Fに回答しておく。(50分程度)					
9	Lesson 8 Omi Province and Its Military History 総合旅行業務取扱管理者試験英語問題②				p.34の近江地方についての文章を読み、T/Fに回答しておく。(50分程度)					
10	Lesson 9 The Deer in Nara				p.38の奈良についての文章を読み、T/Fに回答しておく。(50分程度)					
11	Lesson 10 Kyoto Station				p.42の京都についての文章を読み、T/Fに回答しておく。(50分程度)					
12	Lesson 11 Let's Explore Osaka 総合旅行業務取扱管理者試験英語問題③				p.46の大阪についての文章を読み、T/Fに回答しておく。(50分程度)					
13	Lesson 12 Port City Kobe				p.50の神戸についての文章を読み、T/Fに回答しておく。(50分程度)					
14	Lesson 13 Sand Dunes in Tottori				p.54の鳥取についての文章を読み、T/Fに回答しておく。(50分程度)					
15	基本的な会話練習と重要な語句 Scene 4-5 ロールプレイ / 全体の振り返り				授業後にはロールプレイで用いた会話表現、重要語句をまとめておく。(50分程度)					
教科書	木戸美幸, Carolyn Wright, 河原俊昭, 徳地慎二 (2016) <i>Hospitality English</i> . (『おもてなしの観光英語』) 三修社									
参考文献	資料等は授業内、またはLMSより随時配信する。									
備考	授業にはテキスト、辞書を持参すること。履修者の状況により、進度や順番に変更が生じる場合がある。 本科目は遠隔(オンデマンド配信)にて実施します。									

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)

--